

明治大学レインボーサポートセンター活動
報告書
(2024 年度)



レインボーサポートセンター

目次

0 巻頭言

1 レインボーサポートセンターについて	1
-------------------------------	---

2 活動

(1) 個別相談利用者データ	2
(2) ラウンジ利用者データ	4
(3) 啓発活動	5
(4) その他	10

3 次年度に向けて	12
---------------------	----

4 レインボーサポートセンター運営委員会委員・センター員等	13
---	----

5 レインボーサポートセンター運営委員会開催報告	14
------------------------------------	----

6 資料

(1) 明治大学レインボーサポートセンター規程	15
-----------------------------------	----

巻頭言

レインボーサポートセンター長

浜本牧子

(総合政策担当副学長、農学部専任教授)

日頃よりレインボーサポートセンターの活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。当センターは、2024 年度末で設置から丸 5 年を迎えました。この 5 年間、センターでは、性のあり方にかかわらず、すべての学生が適正に教育研究活動等を行うことのできる環境の整備およびあらゆる多様性を受容・尊重できる価値観を有する人材の育成を目指して、種々の取り組みを行なってまいりました。

本報告書は 2024 年度のセンターの取り組みを振り返り、その成果と今後の課題を共有することを目的として作成いたしましたので、ご一読いただければ幸いです。

2024 年度は、特に「相談・助言」の充実を目指し、専門性を有するコーディネーターを 1 名増員し、2 名体制とすることができたことは大きな前進でした。これにより、個別相談の日数を増やすとともに、センターが設置されている駿河台キャンパス以外の 3 キャンパスにコーディネーターが出向いて対面で個別相談を行なったり、イベントを実施したりする体制を整えることができました。センターの取り組みの柱である「相談・助言」および「啓発」のさらなる充実、多様性を尊重するキャンパスづくりを「前へ」進める重要な一歩となりました。

啓発活動としては、図書館との連携により、図書館スペースへのセンター所蔵の啓発図書展示やポスターの掲示、また、バーチャル本棚やデジタルサイネージを活用した広報活動も展開しました。さらに、センターのリーフレットについても、視認性を向上させるとともに英語を併記し、より多くの学生に情報が届くよう刷新しました。英語での対応については一定の前進があった一方で、センターのホームページや相談体制における英語での対応の整備については、今後の大きな課題として残っています。

設置からの 5 年間で培った知見を基に、関係部署との連携を深めながら、今後も多様性を包摂するキャンパスの実現に向けて取り組みを進めてまいります。引き続き、ご理解とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

1 レインボーサポートセンターについて

<概要>

レインボーサポートセンターは、明治大学のすべての学生が性の在り方にかかわらず、適正に教育研究等の活動を行うことのできる環境整備を推進するとともに、あらゆる多様性を尊重できる価値観を有する人材の育成に資することを目的として設置されたセンターであり、学生生活の中で性の多様性に関する困りごとや悩みを抱えている学生や、性の多様性に関心のある全ての人々が利用できる安全・安心が守られることに十分配慮した場所です。

<設置の経緯>

明治大学は、建学の精神「権利自由・独立自治」及び「ダイバーシティ&インクルージョン宣言」に基づき、学内におけるすべての教育研究活動が、人権尊重の精神の下に、あらゆる多様性を受容し、差別や偏見による人権侵害が生じることのないよう運営の推進を図っています。この理念を踏まえ、2019年12月に「多様な性に配慮した教育研究のあり方に係る基本方針」を定め、この方針の実現方策としてレインボーサポートセンターが設置されました。

<取り組み>

●個別相談：

学生生活の中で抱えている性の多様性に関する困りごとや悩み等の相談に、守秘義務を負った専門スタッフが、プライバシーを厳守して対応しています。授業や窓口等における配慮について、学生が希望する場合は、本人の了解を得た上で、必要に応じて学内の適切な部署と連携を図っています。

●ラウンジ運営

利用者同士や専門スタッフとの会話や情報交換が行える場所、ワークショップ等のイベント開催等の場所として運営しています。

●啓発図書

性の多様性に関する図書、DVD等を豊富に取り揃えています。各キャンパスの図書館に所蔵されていない図書も所蔵しており、貸し出しも行っています。

●啓発イベント

性の多様性に関するセミナーや研修会等を実施し、講師との質疑応答、参加者同士の意見交換等を通じて啓発を図っています。

※センター利用案内等の詳細は、

「明治大学レインボーサポートセンター」ホームページをご覧ください。

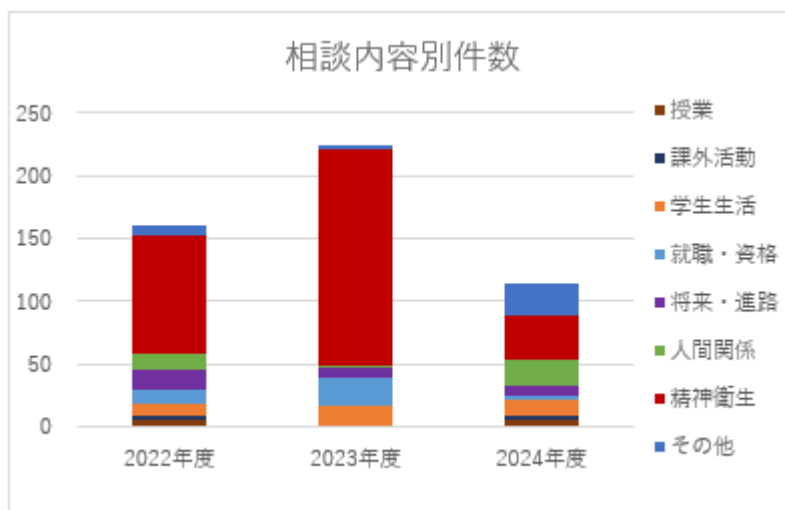
明治大学レインボーサポートセンターホームページQRコード ▶



2 活動

(1) 個別相談利用者データ

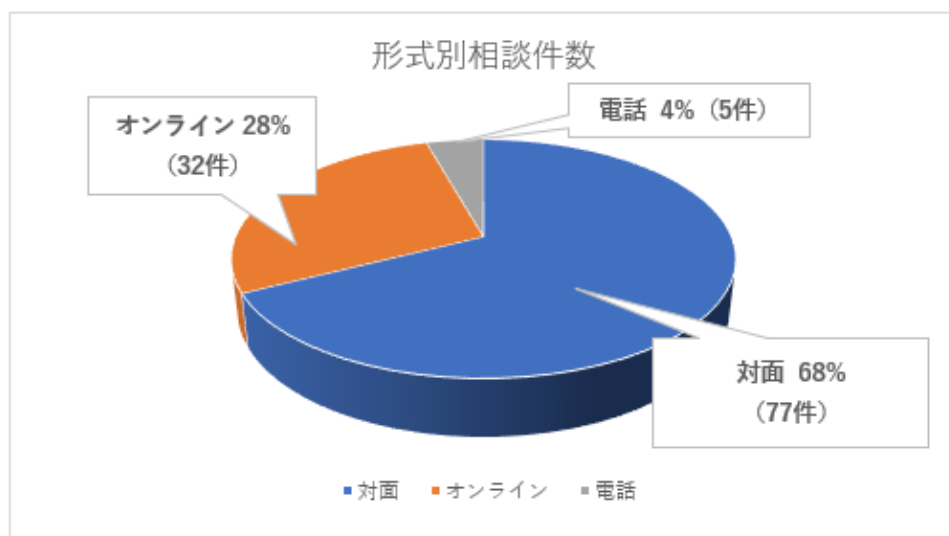
<相談内容別相談件数（延べ件数）>



相談内容	2022年度		2023年度		2024年度		対前年度比 (%)
	延べ件数	構成比	延べ件数	構成比	延べ件数	構成比	
授業	5	3.1%	1	0.4%	5	4.4%	400.0%
課外活動	3	1.9%	0	0.0%	4	3.5%	—
学生生活	10	6.3%	16	7.1%	12	10.5%	▲25.0%
就職・資格	11	6.9%	22	9.8%	3	2.6%	▲86.4%
将来・進路	17	10.6%	8	3.6%	9	7.9%	12.5%
人間関係	12	7.5%	2	0.9%	20	17.5%	900.0%
精神衛生	94	58.8%	172	76.8%	36	31.6%	▲79.1%
その他	8	5.0%	3	1.3%	25	21.9%	733.3%
合計	160	100.0%	224	100.0%	114	100.0%	▲49.1%
相談者数	43人	—	45人	—	44人	—	—

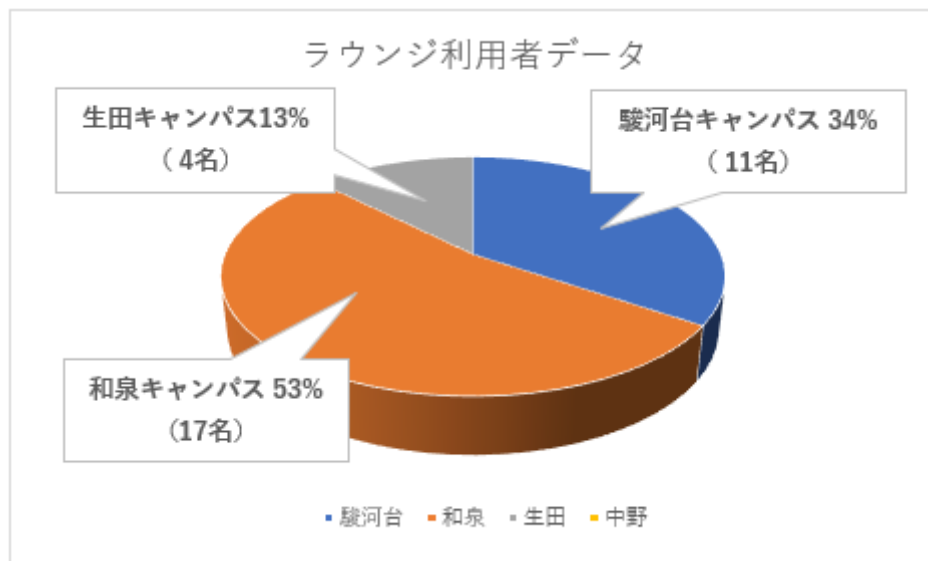
- 2024年度の個別相談件数は、114件で前年度比▲49.1%と減少しました。
- 前年度と比較して、相談件数は減少したものの、相談者数に差はありませんでした。
- 相談内容は精神衛生が36件で全体の3割（構成比31.6%）で最多。次いで、その他が25件（構成比21.9%）、人間関係が20件（構成比17.5%）でした。

<形式別相談件数（延べ件数）>



- 2024年度の形式別相談件数は、全体相談件数114件のうち、対面相談77件（68%）、遠隔相談32件（28%）、電話相談5件（4%）でした。

(2) ラウンジ利用者データ



- 2024年度は年間通して7回ラウンジ開室しました。対面ラウンジのみ開催でしたが、駿河台キャンパス3回、生田キャンパス1回、中野キャンパス1回、和泉キャンパス2回と全てのキャンパスで開催しました。
- 年間利用者数（延べ人数）は32名。駿河台、中野での開催の際は、他キャンパスからの利用者もあり、所属キャンパス以外のラウンジ利用もあることが分かりました。

(3) 啓発活動

性の多様性への理解を進めるための啓発として、センター蔵書の展示を1回、対面ラウンジとパネルの展示を他キャンパスで3回、駿河台での対面ラウンジを1回、教職員向けオンライン研修会1回、大学祭2回、セミナーを2回行いました。

<啓発図書展示>

◆内容：和泉キャンパスでのレインボーサポートセンター所蔵啓発図書展示

- ・展示期間：2024年6月18日（火）～7月1日（月）
- ・展示場所：明治大学和泉キャンパス 和泉図書館 1F展示スペース
- ・概要：和泉図書館の協力を得て、レインボーサポートセンターとの共通蔵書32冊と今回の図書展示のポスターを入口付近の展示棚の見やすい場所に展示しました。

併せて、A4三つ折りパンフレットとセンター蔵書一覧表を配布用に設置し、今後開催するイベントに関連するメインの書籍に関してはポップ等で説明するなど、センターやLGBT等の周知活動を行いました。さらに、和泉図書館事務室の協力で、Oh-o!Meijiへの掲載やナラベル（バーチャル本棚）での書籍紹介、また「デジタルサイネージ」への掲出やXへの投稿などの広報活動で、多くの方に周知・閲覧いただきました。

<駿河台キャンパス対面ラウンジ（テーマ有り）>

◆目的：新コーディネーターの紹介と、改めてセンターを周知する目的で対面ラウンジを開室しました。今回は「アロマンティック・アセクシュアル」というテーマを決め、関連書籍コーナーをセンター内に設け、来室した学生たちと過ごすのを目的としました。

- ・開催日時：2024年7月4日(木)12:30～16:30
- ・場所：明治大学駿河台キャンパス アカデミーコモン7階 レインボーサポートセンター
- ・参加人数：11人
- ・内容：来室者のうち新規来室者6名（対話あり、DVD視聴あり、書籍閲覧あり→貸出2名 3冊）

<セミナー1>

◆テーマ：いちばんやさしいアロマンティック・アセクシュアルのこと

- ・開催日時：2024年10月1日(火)17:30～19:00
- ・開催方法：対面（明治大学駿河台キャンパス リバティタワー）とZOOMでのハイブリッド開催
- ・講師：三宅大二郎氏・中村健氏
- ・対象者：学生・教職員
- ・参加人数：対面 11名(学部生6名・大学院生4名・兼任職員1名)、オンライン 49名…計60名
- ・講演概要：講師の2名は、昨年度に引き続き、アロマンティックやアセクシュアルをはじめとする多様なセクシュアリティに関する研修や情報提供・啓発活動などを行う団体「As Loop」のメンバー

で研究者の三宅氏と同団体メンバーで当事者の中村氏に登壇していただいた。恋愛と性愛を分ける考え方に対する基礎知識や自身のセクシュアリティの自認のきっかけ・日常での葛藤や違和感など当事者の視点から感じることや、理解が難しいアロマンティックやアセクシュアルの「恋愛／性愛感情を抱かない」という点について、社会的にも理解されづらく、当事者自身でさえ迷いが生じやすいなど説明をしていただいた。また、「As Loop」が出版している書籍をもとに日常で良く使われる「何気ないけどモヤモヤする言葉」について、当事者だけでなく社会全体の問題について、コーディネーターと意見を交換したりと、参加者が気付きや学びを得る貴重な機会となりました。講演後、対面での参加者は、セミナー終了後も登壇者の方と話している学生の姿も見られました。

<他キャンパス対面ラウンジ・パネル展示1：生田キャンパス>

◆目的：新コーディネーターの紹介と、駿河台キャンパスのレインボーサポートセンターを周知する目的で対面ラウンジと個別相談(対面のみ)を実施しました。同時に、トランスジェンダーの姿を知ってもらうために、当事者たちが制作した「トランスジェンダーのリアル」という冊子をパネルにしたものを展示し、来室した学生たちと過ごすのを目的としました。

- ・開催日時：2024年10月15日(火)12:30～16:30
- ・場所：明治大学生田キャンパス 中央校舎1階 就職キャリア支援センター横
- ・内容：来室者2名のうち新規来室者2名（対話あり、困りごと相談、パネル閲覧あり、書籍貸出なし）、個別相談1名

<生明祭 レインボーコーナー開室>

◆目的：外部からの生明祭参加者へのセンターの周知

- ・開催日時：11/2(土)12:00～16:30
- ・開催場所：明治大学生田キャンパス 知財分室43
- ・対象者：学外より生明祭に参加された方
- ・来場者数：49人（子供7人含）
- ・内容：①来室者に簡易アンケート実施（アンケート2問：1、LGBTQ+の意味を知っていますか、2、SOGIという言葉を知っていますか）…アンケート協力人数 42人（アンケート1：Yes 35・No 7、アンケート2：Yes 5・No 35）
②SOGI 解説コーナー…(1)アンケート後にSOGIについての解説を読んでもらうコーナー
③読書コーナー…センター所蔵書籍より絵本を中心に持参。ソファ・椅子・レジャーシートを準備し、ゆっくり休憩しながら読んでもらえるようにしました。
④メッセージコーナー…来場者にメッセージを記入してもらい、協力者にお菓子をプレゼントしました。

<明大祭 レインボーコーナー開室>

◆目的：学外からの明大祭参加者へのセンターの周知

- ・開催日時：11/2(土)～4(月)
- ・開催場所：明治大学和泉キャンパス メディア棟・第1校舎
- ・対象者：学外より明大祭に参加された方
- ・内容：新リーフレット版センター案内（コピー）・RSCクリアファイルの配布
配布物設置場所：駿河台キャンパス メディア棟・第1校舎 配布物コーナーに設置
配布物：メディア棟…RSCクリアファイル（300枚）・名刺サイズセンター案内
第1校舎…新リーフレット版センター案内

<教員向けオンライン研修会>

◆目的：多様な性について大学生が抱える課題と大学がすべき対応についての理解促進

- ・開催日時：2024年11月19日(火)12:35～13:25
- ・開催方法：ZOOM ウェビナー
- ・講師：レインボーサポートセンター コーディネーター 古野ひとみ
- ・対象者：教職員
- ・参加人数：49名（アンケート回答者数：26名）
- ・研修内容：1、LGBT等の基礎知識から考えるLGBT等の学生への対応時に気を付ける事
 - ① SOGIE(性的思考・性辞任・性別表現)について考える
 - ② 自分の性について悩んでいる生徒についての現状
 - ③ 当事者からの声・事例を通して、差別的な言動を見聞きしたん場合の対応例2、質疑応答
 - ①LGBT等の学生と接する時に注意すべきこと
(対応の仕方・言葉の選び方・他者の配慮のない発言を聞いた時に出来る事)

<セミナー2>

◆テーマ：企業で働くLGBTQ+の当事者トークセッション

- ・開催日時：2024年12月3日(火)17:30～19:00
- ・開催方法：ZOOM ウェビナーによるオンラインセミナー
- ・講師：一般企業で働くLGBTQ+当事者3名
- ・対象者：学生・教職員
- ・参加人数：21名（アンケート回答者数11名）（後日、希望者に動画限定公開…2/18現在動画視聴者：63名）
- ・講演概要：登壇者は現役で企業で働く当事者3名（うち1名は顔出しなしで登壇）。登壇者の3名

には、質問に答える形で、それぞれお話していただいた。

内容は、現在の職種や役割など仕事の内容から、働く環境について、また就活の際にどんな基準で選んだか、そして実際に入社して感じた事など。そして、カミングアウトについての考え方や、あったら良いと思う制度などといった働きやすい環境についても、それぞれ年齢、職種、キャリア、セクシュアリティの違う3名から色々な角度のお話が聞けた。

アンケートでも、「当事者の貴重な具体的な話が聞けて、色々な気付きがあって良かった。」といった声が多かったことから、リアルな職場のこと、働くことに対するさまざまな視点からの考え方、多様なキャリアについて、他人事ではない自分事として参加者にも考えてもらうきっかけになったのではと思う。

<他キャンパス対面ラウンジ・パネル展示2：中野キャンパス>

◆目的：新コーディネーターの紹介と、駿河台キャンパスのレインボーサポートセンターを周知する目的で対面ラウンジと個別相談(対面のみ)を実施しました。同時に、トランスジェンダーの姿を知ってもらうために、当事者たちが制作した「トランスジェンダーのリアル」という冊子をパネルにしたものを展示し、来室した学生たちと過ごすのを目的としました。

- ・開催日時：2024年12月17日(木)13:00～16:00
- ・場所：明治大学 中野キャンパス 5階 509教室
- ・内容：来室者1名のうち新規来室者0名（対話あり、パネル閲覧あり、書籍貸出なし）、個別相談なし

<他キャンパス対面ラウンジ・パネル展示3：和泉キャンパス①>

◆目的：新コーディネーターの紹介と、駿河台キャンパスのレインボーサポートセンターを周知する目的で対面ラウンジと個別相談(対面のみ)を実施しました。同時に、トランスジェンダーの姿を知ってもらうために、当事者たちが制作した「トランスジェンダーのリアル」という冊子をパネルにしたものを展示し、来室した学生たちと過ごすのを目的としました。

- ・開催日時：2025年1月19日(木)12:30～16:30
- ・場所：明治大学 和泉キャンパス 第1校舎 510教室
- ・内容：来室者6名のうち新規来室者2名（対話あり、困りごと相談、パネル閲覧あり、書籍貸出なし）、個別相談2名

<他キャンパス対面ラウンジ4：和泉キャンパス②（予定）>

◆目的：卒業・学年変更でキャンパス移動前に再度、駿河台キャンパスのレインボーサポートセンターの案内をする目的で対面ラウンジと個別相談(対面のみ)を実施しました。同時に、コーディネーターが制作した「LGBTQへのメッセージ～著名人のさまざまな声～」というパネルを展示し、来室した学生たちと過ごすのを目的としました。

- ・開催日時：2025年3月11日(火)12:30～16：30
- ・場所：明治大学 和泉キャンパス 第1校舎 003教室
- ・内容：来室者6名のうち新規来室者3名（対話あり、困りごと相談、パネル観覧あり、書籍貸出なし）、個別相談2名

(4) その他

<学外イベントに参加>

「多様性、公平性、包摂性があるキャンパス・大学を作るために」

法政大学ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョンセンター（DEIセンター）開設 記念キックオフシンポジウム

◆開催日時：2024年7月8日（月）17:15～19:15（開場：16:55）

◆開催方法ハイブリッド開催

【会場】法政大学市ヶ谷キャンパス富士見ゲート5階 G502 教室

【オンライン】Zoom

◆企画および主催：法政大学ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョンセンター（DEIセンター）

◆シンポジウム概要：DEIセンター開設（2024年4月に開設）を記念し、「多様性、公平性、包摂性があるキャンパス・大学を作るために」をテーマにキックオフシンポジウムを開催。

法政大学総長（廣瀬 克哉氏）および副学長兼担当常務理事（ダイアナ コー氏）より、法政大学のDEI推進について紹介するほか、性の多様性やジェンダー、障がい等の分野の専門家を講師として招き、講演・パネルディスカッションをおこなった。

◆講演：

「法政大学のダイバーシティ推進について」 廣瀬 克哉 法政大学総長

「法政大学のDEI推進の取り組み」 ダイアナ コー 法政大学常務理事、副学長

「性の多様性と大学」 風間 孝 中京大学教養教育研究院教授

「大学におけるダイバーシティ推進の課題 一画一性と排除を見つめるところから」 瀬山 紀子 埼玉大学ダイバーシティ推進センター准教授

「性暴力のない大学をつくるために何が必要か」 佐伯 英子 法政大学人間環境学部准教授

◆ディスカッション登壇者：

ダイアナ コー氏（ファシリテーター）

風間 孝氏（パネリスト）

瀬山 紀子氏（パネリスト）

佐伯 英子氏（パネリスト）

◆参加形式：古野はレインボーサポートセンター内から ZOOM 参加ののち、懇親会へ参加。
西坂は懇親会へ参加。

法政大学の佐伯准教授と中央大学の小川奈津己コーディネーターの2名と名刺交換。

第2回 LGBTQ+インクルーシブキャンパスネットワーク

◆開催日時：2024 年 8 月 28 日（水）14:00～15:30/15:40～16:30（二部構成）

◆開催方法：対面開催

【会場】中央大学ダイバーシティセンター

◆企画および主催：早稲田大学スチューデントダイバーシティセンター・GS センター

◆企画目的：本企画では、大学で LGBTQ+センターの運営やジェンダー・セクシュアリティに関する取り組みに携わる教職員が、自組織での実践例や困りごとについて共有する機会を設けることで、大学間でのネットワークを構築し、各大学でのあらゆるジェンダー・セクシュアリティに対してインクルーシブな取り組みを促進するきっかけになるように。

◆第一部：ディスカッション

・5 つのテーマ（①制度、②体制・資源（人員や場所）、③相談・学内連携、④啓発（教職員、学生向けに）、⑤調査・研究（ニーズ調査なども））ごとに 5 名程度のグループを作成し、意見・情報交換し、20 分毎にグループを変えて、再び意見・情報交換

◆第二部：懇親会

参加者同士で歓談・名刺交換など。中央大学ダイバーシティセンターの学生用スペース（ダイバーシティスクエア）の見学。

東京レインボープライド 2024

・開催日時：2024 年 4 月 20 日(土)～4 月 21(日) *4 月 19 日(金)は強風の影響のため安全を考慮し中止

・開催内容：「“性”と“生”の多様性」を祝福する祭典として、代々木公園にて開催された。

2024 年度は、「変わるまであきらめない。」をテーマに、多様な誰もが公平に、そして自分らしく幸せに生きる未来のために、

あきらめずあゆみを止めないという思いを込めた。(2 日間の延べ動員数は 27 万人で過去最高を記録)

・内容：UDA（University Diversity Alliance のブースへ以下を設置していただいた。

レインボーサポートセンタークリアファイル（リーフレット・カード入り）302 セット（2 セットは展示用）

3 次年度に向けて

<今年度の課題>

- ・学生、教職員個々人の性の多様性に対する認識に温度差がある。
- ・センターが駿河台キャンパスにしか設置されていないため、他キャンパスからのオンライン相談手段に関する周知を広める必要がある。
- ・レインボーサポートセンターの利用と個別相談の場所が同一であるため、レインボーサポートセンターの利用が制限されることがある。

<次年度に向けて>

- ・性の多様性についての正しい知識の周知に加え、授業や窓口等で実際に学生が困っていることや悩みについて、学生・教職員に知ってもらうことが急務であり、取り組んでいきたい。
- ・駿河台以外のキャンパスでの対面相談対応を定期的におこないたい。

4 レインボーサポートセンター運営委員会委員・センター員等

2024年3月31日現在

	氏 名	所属等
センター長	浜 本 牧 子	農学部 (副学長)
副センター長・運営委員	仮 屋 浩 子	政治経済学部 (副学生部長)
センター員・運営委員	宮崎 イキサン	政治経済学部
センター員・運営委員	宮 脇 梨 奈	文学部
センター員・運営委員	浅 沼 成 人	農学部
センター員・運営委員	岸 磨 貴 子	国際日本学部
センター員・運営委員	山 崎 健 司	大学院
センター員・運営委員	山 村 能 郎	専門職大学院
運営委員	日 向 祥 子	政治経済学部 (学生相談員長)
運営委員	小野寺 幸 子	学生支援部長
運営委員	須 藤 弘 樹	学生支援事務室事務長
運営委員	東 盛 達 也	和泉学生支援事務長
運営委員	幕 内 達 二	生田学生支援事務長
運営委員	丸 山 忍	学生相談事務長
運営委員	藤 嶋 利 生	中野教育研究支援事務長
オブザーバー	西 坂 由 朱	学生支援事務室特別嘱託職員
オブザーバー	古野 ひとみ	学生支援事務室特別嘱託職員
事務局	新 宅 杏 子	学生支援事務室
事務局	秋 山 智 美	学生支援事務室
事務局	大 坂 久 代	学生支援事務室派遣職員

5 レインボーサポートセンター運営委員会開催報告

	開催日	場所/開催形式	議題
第1回	6月24日（月）	オンライン開催 （Zoom）	・ 修学上の配慮の申請受付について ・ 2023年度活動報告書について ・ 2023年度自己点検・評価報告書について ・ 2025年度学生部 長期・中期計画書及び単年度計画について ・ 夏季休業期間中の開室時間等について ・ 対面ラウンジの実施について ・ 啓発図書の展示（和泉図書館）について
第2回	10月16日（水）～ 10月22日（火）	書面開催 （メール審議）	・ 2025年度レインボーサポートセンター事業計画（案）について ・ 2025年度レインボーサポートセンター予算（案）について ・ 2024年度レインボーサポートセンター活動報告書の項目について ・ 活動報告及び今後のイベント等の活動予定について
第3回	3月13日（木）～ 3月19日（水）	書面開催 （メール審議）	・ 性別違和のある学生の通称名使用について ・ 2025年度レインボーサポートセンター予算について ・ 2024年度活動報告及び2025年度活動計画について ・ 2025年度相談対応スケジュールについて ・ レインボーサポートセンター蔵書について ・ レインボーサポートセンター啓発活動について

6 資料

明治大学レインボーサポートセンター規程

2020年1月29日制定

2019年度規程第18号

(目的及び設置)

第1条 明治大学（以下「本大学」という。）は、本大学の学生に対する多様な性に配慮した諸施策を推進することにより、性の在り方にかかわらず、すべての学生が適正に教育研究その他の活動を行うことのできる環境の整備及びあらゆる多様性を受容・尊重できる価値観を有する人材の育成に資することを目的として、学長の下に明治大学レインボーサポートセンター（以下「センター」という。）を設置する。

(事業)

第2条 センターは、前条の目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- (1) 多様な性に関する諸活動の企画・立案及び実施
- (2) 多様な性に関する相談・助言
- (3) 多様な性に関する学内外の関係機関・部署との連絡・調整
- (4) 多様な性に対する理解を深めるための啓発活動
- (5) 多様な性に関する情報の収集、調査・分析及び発信
- (6) その他センターの目的達成に必要な事業

(組織)

第3条 センターは、次に掲げる者をもって組織する。

- (1) センター長1名
- (2) 副センター長1名
- (3) センター員6名以内

(センター長)

第4条 センター長は、学長の命を受けてセンターの業務を総括し、センターを代表する。

2 センター長は、副学長のうちから、学長が指名する。

3 センター長の任期は、2年とする。ただし、補欠のセンター長の任期は、前任者の残任期間とする。

4 センター長は、再任されることができる。

(副センター長)

第5条 副センター長は、センター長を補佐し、センター長に事故あるときは、その職務を代行する。

2 副センター長は、副学生部長のうちから、センター長が指名する。

3 前条第3項及び第4項の規定は、副センター長の任期及び再任について準用する。

(センター員)

第6条 センター員は、センター長の命を受け、センターの目的達成に必要な業務を遂行する。

2 センター員は、専任教員のうちから、センター長が指名する。

3 第4条第3項及び第4項の規定は、センター員の任期及び再任について準用する。

(運営委員会)

第7条 センターの運営に関して、次に掲げる事項を審議するため、センターに運営委員会（以下「委員会」という。）を置く。

- (1) 第2条に掲げる事業に関すること。
- (2) センターの管理・運営に関すること。
- (3) センターの予算及び決算に関すること。
- (4) その他委員会が必要と認めたこと。

(運営委員)

第8条 委員会は、次に掲げる運営委員（以下「委員」という。）をもって構成する。

- (1) センター長
- (2) 副センター長
- (3) センター員
- (4) 学生相談員長
- (5) 学生支援部長
- (6) 学生支援部学生支援事務長，和泉学生支援事務長，生田学生支援事務長及び学生相談事務長並びに中野キャンパス事務部中野教育研究支援事務長

2 委員の任期は、職務上委員となる者を除き、2年とする。ただし、任期途中に交代する場合は、前任者の残任期間とする。

3 委員は、再任されることができる。

(会議)

第9条 センター長は、委員会を招集し、その議長となる。

2 委員会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開き、議決することができない。

3 委員会の議事は、出席委員の過半数をもってこれを決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

4 委員会は、必要に応じて、委員以外の者を出席させ、意見を聴くことができる。

(ワーキンググループ)

第10条 センター長は、センターの業務を遂行するため、必要に応じて、事案ごとにワーキンググループを置くことができる。

2 ワーキンググループの運営に関し必要な事項は、センター長が委員会の同意を得て、これを定める。

(事務)

第11条 センターに関する事務は、学生支援部学生支援事務室が行い、学生支援部和泉学生支援事務室，生田学生支援事務室及び学生相談事務室並びに中野キャンパス事務部中野教育研究支援事務室がこれに協力するものとする。

(規程の改廃)

第12条 この規程を改廃するときは、委員会の議を経なければならない。

(雑則)

第13条 この規程の施行に必要な事項は、委員会の議を経て、センター長がこれを定める。

附 則

(施行期日)

1 この規程は、2020年2月1日から施行する。

(任期の特例)

2 この規程の施行後、最初に任命されるセンター長、副センター長及びセンター員の任期は、それぞれ第4条第3項本文、第5条第3項及び第6条第3項の規定にかかわらず、2020年3月31日までとする。

(通達第2670号)

発行 2025年6月
明治大学レインボーサポートセンター